プログラム第１日目：５月 20 日(土)

大会長講演	14：40 〜 15：10	会場１

司会：佐藤純一（龍谷大学）

健康と病理

○村岡潔（佛教大学社会福祉学部）

シンポジウム	15：15 〜 17：45	会場１

病をめぐる Contestation――本態・病因・治療法を論点として

司会：黒田浩一郎（龍谷大学）

パラダイムシフトという幻想
—EBM の時代に生きて—

○齊尾武郎（無所属）

先制医療への意志は「正常病」の症状かもしれない
—HPV ワクチン接種被害事件を糸口にして—

○井上芳保（無所属）

精神医学的心理とその不満
—診断マニュアル DSM を例に—

○美馬達哉（立命館大学）

RTD①	12：30 ～ 14：30	会場４

Contested illness という事象　―社会的要因を探る―

企画者：鈴木理恵（ミシガン大学フリント校）
発表者：池田光穂（大阪大学）
美馬達哉（立命館大学）
志水洋人（大阪大学）
入澤仁美（兵庫医科大学）

RTD②	12：30 ～ 14：30	会場５

「チーム学校」とは何か　―教育と保健医療の連携の課題―

企画・話題提供者：　荻野貴美子（星槎大学）
話題提供者：北村哲郎（A 市立中学校教諭）
話題提供者：細田満和子（星槎大学）

一般演題／口演	12：40 ～ 14：30	会場２

●第１セッション　質的研究と人々の方法

司会：海老田大五朗（新潟青陵大学）

1-1　**精神科診療場面における知識の非対称性の調停**
—知識配分についての会話分析—
○河村裕樹（一橋大学）

1-2　**訪問ケアにおける病いの理由づけ実践**
—訪問鍼灸マッサージを事例として—
○坂井愛理（東京大学）

1-3　**救命救急センターにおけるワークの研究（1）**
—看護実践に挟まれるコミュニケーションに注目して—
○西村ユミ（首都大学東京）・前田泰樹（東海大学）

1-4　**救命救急センターにおけるワークの研究（2）**
—患者の入室方法の変化に着目して—
○前田泰樹（東海大学）・西村ユミ（首都大学東京）

1-5　**コントロール指標の生きられた経験**
—2 型糖尿病者の数値をめぐる表現から—
○細野知子（首都大学東京大学院）

一般演題／口演	12：40 ～ 14：30	会場３

●第２セッション　感染症とその実態

司会：伊藤美樹子（滋賀医科大学）

2-1　**生存と生活の質の重要性**
—薬害ＨＩＶ感染被害者の長期療養のための患者参加型支援研究の視点より—
○久地井寿哉（社会福祉法人はばたき福祉事業団）・柿沼章子（社会福祉法人はばたき福祉事業団）
岩野友里（社会福祉法人はばたき福祉事業団）・大平勝美（社会福祉法人はばたき福祉事業団）

2-2　**HIV/AIDS の災禍？“新興感染症”の新たなグローバルビジネス展開？**
○黒野利佐子（神戸常盤大学）

2-3　**HPV ワクチン接種被害者の「救済」実態と意義・問題点**
○片平洌彦（健和会　臨床・社会薬学研究所）・榎　宏朗（健和会　臨床・社会薬学研究所）

2-4　**子宮頸がん予防ワクチン接種後の副反応を疑う一例から学ぶこと**
○杉原正子（独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター・慶應義塾大学）

2-5　**自己採取 HPV 検査陽性者の子宮頸がん検診受診動向追跡調査**
○伊藤真理（未来工学研究所・東京大学）・有藤亜希子（島根県出雲市）
松山裕（東京大学大学）

一般演題／示説１	14：00 ～ 14：30	会場７

司会：種田博之（産業医科大学）

P1-1　英国IPW(Interprofessional work)実践者がもつIPE(Interprofessional Education)への意識：調査報告
—看護師・介護福祉士・マネジャー職への質問紙調査より—

○小山 晶子（貞静学園短期大学）・小野 智佐子（神奈川工科大）
成島 光之助(Alice Salomon Hochschule Berlin)

P1-2　パフォーマンスを通した「分人化」による薄い人間関係の形成と継続

○杉本 洋（新潟医療福祉大学）・栗﨑 由貴子（新潟医療福祉大学）
五十嵐 紀子（新潟医療福祉大学）・金谷 光子（新潟医療福祉大学）

（発表取り下げ）~~P1-3　他科受診について~~

~~○山縣 弘子~~

P1-4　「育薬」は薬害を防ぐ考え方か？

○松山 圭子（青森公立大学）

P1-5　「化学物質過敏症」はいかにして主張されるのか
—臨床環境医による一般向けの著作を対象として—

○景山 千愛（京都大学）